

開講年度	令和5年度	開講期間	前期
科目名	統計学		
担当教員	東 秀孝		
学年	3年	学科	作業・理学
単位数	2単位	時間数	30時間
学習目標	統計学とは、集団の特性を探る学問であります。物事を合理的に考えたり、医療研究を理解する為にも必要であります。統計学の基礎的な概念や考え方を理解していきます。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. データの形</li> <li>2. データの整理</li> <li>3. データの代表値</li> <li>4. データの散らばり</li> <li>5. 分散と標準偏差</li> <li>6. データの相関</li> <li>7. 確率</li> <li>8. 確率分布</li> <li>9. 統計的推理</li> <li>10. 2群の比較、カイ2乗検定</li> <li>11. 区間推定、相関係数の検定</li> <li>12. 回帰分析、分散分析</li> <li>13. エクセルを使用して演習問題</li> <li>14. エクセルを使用して演習問題</li> <li>15. エクセルを使用して演習問題</li> </ol>		
教科書	使用しない		
参考書	資料		
評価方法	出席状況、レポート提出、授業態度、筆記試験		
備考			

開講年度	令和5年度	開講期間	前期
科目名	作業療法評価学Ⅱ		
担当教員	熊野 巴之		
学年	3年	学科	作業
単位数	1単位	時間数	30時間
学習目標	体験実習および短期実習のブラッシュアップを行う。 また、地域作業療法学Ⅱの症例検討会なども実施予定。		
授業計画	1. 症例検討 2. 症例検討 3. 症例検討 4. 症例検討 5. 症例検討 6. 症例検討 7. 症例検討 8. 症例検討 9. 症例検討 10. 症例検討 11. 症例検討 12. 症例検討 13. 症例検討 14. 症例検討 15. 症例検討		
教科書	『自身がもてる！リハビリテーション臨床実習』【監】里宇明元（医歯薬出版） 各領域の教科書を随時使用する予定。		
参考書	ジャーナルなど		
評価方法	症例報告の内容を中心に評定を行う。		
備考			

開講年度	令和5年度	開講期間	通年
科目名	身体障害作業療法学Ⅱ(神経筋)		
担当教員	中野 和代		
学年	3年	学科	作業
単位数	4単位	時間数	120(30)時間
学習目標	<p>脳血管障害を中心に、中枢疾患についてクライアントの作業療法の実際を学ぶ。評価及び治療の一連の流れを学び、日常生活活動の治療法について学ぶ。 我が国で難病として定められた特定疾患のうち、臨床でよく出会う疾患の症状、経過および作業療法的評価・治療についての基礎的事項を理解する。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 難病総論</li> <li>2. パーキンソン病(1)</li> <li>3. パーキンソン病(2)</li> <li>4. 筋萎縮性側索硬化症(1)</li> <li>5. 筋萎縮性側索硬化症(2)</li> <li>6. 脊髄小脳変性症(1)</li> <li>7. 脊髄小脳変性症(2)</li> <li>8. まとめと国家試験対策(1)</li> <li>9. 多発性硬化症</li> <li>10. ギランバレー症候群</li> <li>11. 重症筋無力症/プリオン病</li> <li>12. 全身性エリテマトーデス</li> <li>13. 筋ジストロフィー</li> <li>14. まとめと国家試験対策(2)</li> <li>15. まとめと国家試験対策(3)</li> </ol>		
教科書	<p>『標準作業療法学 専門分野 身体機能作業療法学』【編】岩崎テル子 (医学書院) 『標準作業療法学 専門分野 高次脳機能作業療法学』【著】能登真一 (医学書院) 『神経難病領域のリハビリテーション実践アプローチ』【監】小森哲夫(メジカルビュー社) 『病気がみえる〈vol.7〉脳・神経』【編】医療情報科学研究所 (メディックメディア)</p>		
参考書	随時紹介		
評価方法	出席状況、授業態度、試験		
備考			

開講年度	令和5年度	開講期間	通年
科目名	身体障害作業療法学Ⅱ(脳血管)		
担当教員	佐近 隆二		
学年	3年	学科	作業
単位数	4単位	時間数	120(30)時間
学習目標	<p>脳血管障害を中心に、中枢疾患についてクライアントの作業療法の実際を学ぶ。評価及び治療の一連の流れを学び、日常生活活動の治療法について学ぶ。</p> <p>到達目標:評価から治療を紐づけて考えられる。治療を学生同士で習得する。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 作業療法の全体像</li> <li>3. 急性期の作業療法</li> <li>4. 急性期の作業療法</li> <li>5. 急性期の作業療法</li> <li>6. 急性期の作業療法</li> <li>7. 回復期の作業療法</li> <li>8. 回復期の作業療法</li> <li>9. 回復期の作業療法</li> <li>10. 回復期の作業療法</li> <li>11. 生活期の作業療法</li> <li>12. 生活期の作業療法</li> <li>13. 生活期の作業療法</li> <li>14. 生活期の作業療法</li> <li>15. まとめ 国試対策</li> </ol>		
教科書	<p>『標準作業療法学 専門分野 身体機能作業療法学』【編】岩崎テル子 (医学書院)</p> <p>『標準作業療法学 専門分野 高次脳機能作業療法学』【著】能登真一 (医学書院)</p> <p>『神経難病領域のリハビリテーション実践アプローチ』【監】小森哲夫(メジカルビュー社)</p> <p>『病気がみえる〈vol.7〉脳・神経』【編】医療情報科学研究所 (メディックメディア)</p>		
参考書	随時紹介		
評価方法	授業態度、課題への取り組み、出席状況、期末試験などを含め、総合的に評価する。		
備考	実技練習を度々行うため、教室が変更になることがあります。		

開講年度	令和5年度	開講期間	通年
科目名	内部障害作業療法		
担当教員	滝川 忠喜		
学年	3年	学科	作業
単位数	3単位	時間数	90(30)時間
学習目標	<p>主な内部障害の基礎とリハビリテーションを概説する。 特に臨床現場で遭遇する呼吸・循環・代謝障害に限定して通年で講義を展開する。内部障害の病態・治療・予後などについて理解し、臨床場面でのリハビリテーションの方針やリスク管理を学習する。最終的に動作方法の工夫や指導、環境調整などを行い、どうすれば生活の再構築ができるのかを学び、自ら思考できるようにする。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 呼吸器系の構造と機能①</li> <li>2. 呼吸器系の構造と機能②</li> <li>3. 呼吸器系の構造と機能③</li> <li>4. 呼吸機能の評価(視診・触診)</li> <li>5. 呼吸機能の評価(打診・聴診)</li> <li>6. 呼吸機能の評価(呼吸困難感・運動耐容能)</li> <li>7. 画像診断(X線・CT)</li> <li>8. 呼吸器疾患①</li> <li>9. 呼吸器疾患②</li> <li>10. 呼吸器疾患③</li> <li>11. 呼吸器リハビリテーション①</li> <li>12. 呼吸器リハビリテーション②</li> <li>13. 呼吸器リハビリテーション③</li> <li>14. 吸引の基礎知識</li> <li>15. 吸引(演習)、国家試験対策</li> </ol>		
教科書	『内部障害のリハビリテーション』【編】上月 正博 (医歯薬出版)		
参考書	随時		
評価方法	試験(前期試験と後期試験の合算で判定)、出席状況、授業態度		
備考			

開講年度	令和5年度	開講期間	通年
科目名	精神障害作業療法Ⅱ		
担当教員	沖辺 裕樹		
学年	3年	学科	作業
単位数	2単位	時間数	60(30)時間
学習目標	精神科作業療法治療学の基礎となる治療構造について学ぶ。 また、疾患別作業療法として統合失調症の病理と成因、行動の特徴、治療構造を理解する。 主な精神疾患の病理と成因、行動の特徴、作業療法の治療構造について理解する。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 治療過程と治療構造</li> <li>2. 治療的態度、関わり方</li> <li>3. 作業活動①</li> <li>4. 作業活動②</li> <li>5. 作業活動③</li> <li>6. 作業活動④</li> <li>7. 作業活動⑤</li> <li>8. 集団</li> <li>9. 時間、頻度、場所</li> <li>10. 症状別精神科作業療法①</li> <li>11. 脳活性化リハビリテーション②</li> <li>12. 疾患別作業療法統合失調症①</li> <li>13. 疾患別作業療法統合失調症②</li> <li>14. 疾患別作業療法統合失調症③</li> <li>15. 疾患別作業療法統合失調症④</li> </ol>		
教科書	『はじめての精神科作業療法』【著】山口芳文・渡辺雅幸（中外医学社） 『標準精神医学』【著】野村総一郎(医学書院)		
参考書			
評価方法	期末テスト		
備考			

開講年度	令和5年度	開講期間	通年
科目名	高齢期障害作業療法		
担当教員	亀山 徹		
学年	3年	学科	作業
単位数	2単位	時間数	60(30)時間
学習目標	高齢期を取り巻く環境や課題を理解し、高齢期に起こる疾病や障害に対応できるよう学習を深め、評価や治療を学ぶ		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 高齢社会と高齢期の課題①</li> <li>3. 高齢者を取り巻く社会制度</li> <li>4. 介護保険制度</li> <li>5. 高齢期の一般的特徴</li> <li>6. 老年症候群</li> <li>7. 高齢期の作業療法の概要</li> <li>8. 高齢期に多い疾患①</li> <li>9. 高齢期に多い疾患②</li> <li>10. 認知症①</li> <li>11. 認知症②</li> <li>12. 高齢期作業療法の実践</li> <li>13. 高齢期作業療法の実践</li> <li>14. 国試対策</li> <li>15. まとめ</li> </ol>		
教科書	『認知症の正しい理解と包括的医療・ケアのポイント』【著】山口晴保（共同医書出版） 『標準作業療法学 専門分野 高齢期作業療法学』【監】矢谷令子（医学書院）		
参考書	『標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学』【監】岩崎テル子 他（医学書院）		
評価方法	出席状況・授業態度・筆記試験		
備考			

開講年度	令和5年度	開講期間	通年
科目名	日常生活活動学		
担当教員	熊野 巴之		
学年	3年	学科	作業
単位数	2単位	時間数	60(30)時間
学習目標	ADLの基本的知識の整理を通して、具体的な評価・支援方法などについて理解を深めることを目標としている。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 日常生活活動の概念</li> <li>3. 日常生活活動の意義と範囲</li> <li>4. 生活関連活動</li> <li>5. 国際生活機能分類</li> <li>6. 日常生活活動の評価</li> <li>7. 自助具</li> <li>8. 自助具選定</li> <li>9. 自助具作成</li> <li>10. 支援機器と住環境1</li> <li>11. 支援機器と住環境2</li> <li>12. 支援機器と住環境3</li> <li>13. コミュニケーション1</li> <li>14. コミュニケーション2</li> <li>15. リハビリテーション計画の立案練習 国家試験対策</li> </ol>		
教科書	『新版 日常生活活動(ADL) 評価と支援の実際』【著】伊藤利之・江藤文夫(医歯薬出版) 『作業療法学全書 第10巻 福祉用具の使い方・住環境整備』 【著】木之瀬隆(協同医書出版)		
参考書	『新版 日常生活活動(ADL) 評価と支援の実際』【著】伊藤利之・江藤文夫(医歯薬出版) 『作業療法学全書 第10巻 福祉用具の使い方・住環境整備』 【著】木之瀬隆(協同医書出版)		
評価方法	出席状況、授業態度、試験		
備考			



開講年度	令和5年度	開講期間	通年
科目名	地域作業療法学 I		
担当教員	中野 和代		
学年	3年	学科	作業
単位数	2単位	時間数	60(30)時間
学習目標	地域におけるリハビリテーションの概念や機能、作業療法士業務と役割、他職種の業務と連携の重要性、基本的な法制度について学ぶ。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 地域リハビリテーションとは</li> <li>3. 我が国における地域作業療法</li> <li>4. 地域作業療法の展開(1)</li> <li>5. 地域作業療法の展開(2)</li> <li>6. 地域作業療法を支える制度(1)</li> <li>7. 地域作業療法を支える制度(2)</li> <li>8. 社会生活支援・連携</li> <li>9. 地域作業療法の実践事例(1)</li> <li>10. 地域作業療法の実践事例(2)</li> <li>11. 地域作業療法の実践事例(3)</li> <li>12. 地域作業療法の実践事例(4)</li> <li>13. 地域作業療法の実践事例(5)</li> <li>14. 地域作業療法の実践事例(6)</li> <li>15. まとめと国家試験対策</li> </ol>		
教科書	『標準作業療法学 専門分野 地域作業療法学』【編】小野恵子（医学書院）		
参考書	『地域作業療法学・老年期作業療法学（作業療法学 ゴールド・マスター・テキスト 9）』 【編】田村 孝司（メジカルビュー社）		
評価方法	出席状況・課題学習への取り組み・期末試験により総合的に評価する。		
備考	我が国の制度や社会情勢を知るために、日々報道されるニュースに関心を向けよう。		

開講年度	令和5年度	開講期間	通年
科目名	地域作業療法学Ⅱ		
担当教員	熊野 巴之		
学年	3年	学科	作業
単位数	4単位	時間数	120(60)時間
学習目標	地域生活を営む対象者の課題を知り、作業療法士が行う支援と地域での役割について座学と実習の両面から学ぶ。		
授業計画	1. 前期オリエンテーション 2. 地域実習① 3. 地域実習② 4. 地域実習③ 5. 地域実習④ 6. 地域実習⑤ 7. 地域実習⑥ 8. 地域実習⑦ 9. 地域実習⑧ 10. 地域実習⑨ 11. 地域実習⑩ 12. 地域実習⑪ 13. 地域実習⑫ 14. 地域実習⑬ 15. 地域実習⑭ 16. 地域実習⑮ 17. 地域実習⑯ 18. 地域実習⑰ 19. 地域実習⑱ 20. 地域実習⑲ 21. 地域実習⑳ 22. 地域実習㉑ 23. 地域実習㉒ 24. 地域実習㉓ 25. 地域実習㉔ 26. 地域実習㉕ 27. 地域実習㉖ 28. 地域実習㉗ 29. 地域実習㉘ 30. まとめ		
教科書	『標準作業療法学 専門分野 地域作業療法学』【編】小野恵子（医学書院）		
参考書	『地域作業療法学・老年期作業療法学（作業療法学 ゴールド・マスター・テキスト9）』 【編】田村 孝司（メジカルビュー社）		
評価方法	課題提出・症例報告・実習への取り組み姿勢・出席状況を総合的に評価する。		
備考	座学と実習を通じて地域作業療法に必要な疾患の知識、評価、介入の技術およびリスク管理の理解を深める総合的科目である。履修済み科目の教科書・ノートなどを復習して臨むこと。		

開講年度	令和5年度	開講期間	前期
科目名	臨床評価実習(短期実習)		
担当教員	臨床実習指導者 教員		
学年	3年	学科	作業
単位数	4単位	時間数	135時間
学習目標	<p>学生が将来、作業療法士としての役割と責任が果たせるように、臨床現場での対象者やリハスタッフ、その他の医療等関係者との関係を形成する重要な科目の一つであり、実習までに習得した知識・技術の実践の場として、さらに障がいを実体験する機会でもある。また作業療法士が行う治療を立案する上で重要な検査・測定等、評価のプロセスを理解する重要な機会でもある。</p>		
授業計画	<p>実習期間</p> <p>1期 2023年8月21日(月)      ~      2023年9月9日(土)</p> <p>2期 2023年8月28日(月)      ~      2023年9月16日(土)</p> <p>※1期または2期のどちらかの期間</p> <p>※適宜、訪問リハビリテーション又は通所リハビリテーションに関する実習を1単位以上を含む</p>		
教科書	実習中は、これまで購入した教科書、参考書籍、講義資料等が必要である。		
参考書	実習指導者、教員等に必要な参考書籍、参考文献を確認すること。		
評価方法	実習指導者の評点、学内での報告、実習中のレポート、出席状況等を考慮し、評価する。		
備考			

開講年度	令和5年度	開講期間	前期																														
科目名	総合臨床実習 I (OSCE)																																
担当教員	佐近 隆二 ・ 熊野 巴之																																
学年	3年	学科	作業																														
単位数	10単位	時間数	60時間																														
学習目標	<p>目標: 臨床評価実習が円滑に行うことができる。  概要: 2年次の学習した評価学の復習の場とし、また実習を想定し、実技評価を行う。</p>																																
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1. オリエンテーション</td> <td>16. 実技演習</td> </tr> <tr> <td>2. MTDLP</td> <td>17. 実技演習</td> </tr> <tr> <td>3. MTDLP</td> <td>18. 実技演習</td> </tr> <tr> <td>4. MTDLP</td> <td>19. 実技演習</td> </tr> <tr> <td>5. 実技演習</td> <td>20. 実技演習</td> </tr> <tr> <td>6. 実技演習</td> <td>21. 実技演習</td> </tr> <tr> <td>7. 実技演習</td> <td>22. 実技演習</td> </tr> <tr> <td>8. 実技演習</td> <td>23. 実技演習</td> </tr> <tr> <td>9. 実技演習</td> <td>24. 実技演習</td> </tr> <tr> <td>10. 実技演習</td> <td>25. 実技演習</td> </tr> <tr> <td>11. 実技演習</td> <td>26. 実技演習</td> </tr> <tr> <td>12. 実技演習</td> <td>27. 実技演習</td> </tr> <tr> <td>13. 実技演習</td> <td>28. 実技演習</td> </tr> <tr> <td>14. 実技演習</td> <td>29. 実技演習</td> </tr> <tr> <td>15. 実技演習</td> <td>30. 実技演習</td> </tr> </table>			1. オリエンテーション	16. 実技演習	2. MTDLP	17. 実技演習	3. MTDLP	18. 実技演習	4. MTDLP	19. 実技演習	5. 実技演習	20. 実技演習	6. 実技演習	21. 実技演習	7. 実技演習	22. 実技演習	8. 実技演習	23. 実技演習	9. 実技演習	24. 実技演習	10. 実技演習	25. 実技演習	11. 実技演習	26. 実技演習	12. 実技演習	27. 実技演習	13. 実技演習	28. 実技演習	14. 実技演習	29. 実技演習	15. 実技演習	30. 実技演習
1. オリエンテーション	16. 実技演習																																
2. MTDLP	17. 実技演習																																
3. MTDLP	18. 実技演習																																
4. MTDLP	19. 実技演習																																
5. 実技演習	20. 実技演習																																
6. 実技演習	21. 実技演習																																
7. 実技演習	22. 実技演習																																
8. 実技演習	23. 実技演習																																
9. 実技演習	24. 実技演習																																
10. 実技演習	25. 実技演習																																
11. 実技演習	26. 実技演習																																
12. 実技演習	27. 実技演習																																
13. 実技演習	28. 実技演習																																
14. 実技演習	29. 実技演習																																
15. 実技演習	30. 実技演習																																
教科書	プリント配布																																
参考書	随時紹介																																
評価方法	実技試験を2回実施し、平均した点を評点とする。																																
備考																																	

開講年度	令和5年度	開講期間	通年																														
科目名	作業療法国家試験演習Ⅱ																																
担当教員	滝川 忠喜																																
学年	3年	学科	作業																														
単位数	5単位	時間数	150(60)時間																														
学習目標	国家試験問題の解説ノートづくりを通して、臨床心理学に関する理解を深める。																																
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1. 基礎医学</td> <td>16. 臨床医学</td> </tr> <tr> <td>2. 基礎医学</td> <td>17. 臨床医学</td> </tr> <tr> <td>3. 基礎医学</td> <td>18. 臨床医学</td> </tr> <tr> <td>4. 基礎医学</td> <td>19. 臨床医学</td> </tr> <tr> <td>5. 基礎医学</td> <td>20. 臨床医学</td> </tr> <tr> <td>6. 基礎医学</td> <td>21. 臨床医学</td> </tr> <tr> <td>7. 基礎医学</td> <td>22. 臨床医学</td> </tr> <tr> <td>8. 基礎医学</td> <td>23. 臨床医学</td> </tr> <tr> <td>9. 基礎医学</td> <td>24. 臨床医学</td> </tr> <tr> <td>10. 基礎医学</td> <td>25. 臨床医学</td> </tr> <tr> <td>11. 基礎医学</td> <td>26. 臨床医学</td> </tr> <tr> <td>12. 基礎医学</td> <td>27. 臨床医学</td> </tr> <tr> <td>13. 基礎医学</td> <td>28. 臨床医学</td> </tr> <tr> <td>14. 基礎医学</td> <td>29. 臨床医学</td> </tr> <tr> <td>15. 基礎医学</td> <td>30. 臨床医学</td> </tr> </table>			1. 基礎医学	16. 臨床医学	2. 基礎医学	17. 臨床医学	3. 基礎医学	18. 臨床医学	4. 基礎医学	19. 臨床医学	5. 基礎医学	20. 臨床医学	6. 基礎医学	21. 臨床医学	7. 基礎医学	22. 臨床医学	8. 基礎医学	23. 臨床医学	9. 基礎医学	24. 臨床医学	10. 基礎医学	25. 臨床医学	11. 基礎医学	26. 臨床医学	12. 基礎医学	27. 臨床医学	13. 基礎医学	28. 臨床医学	14. 基礎医学	29. 臨床医学	15. 基礎医学	30. 臨床医学
1. 基礎医学	16. 臨床医学																																
2. 基礎医学	17. 臨床医学																																
3. 基礎医学	18. 臨床医学																																
4. 基礎医学	19. 臨床医学																																
5. 基礎医学	20. 臨床医学																																
6. 基礎医学	21. 臨床医学																																
7. 基礎医学	22. 臨床医学																																
8. 基礎医学	23. 臨床医学																																
9. 基礎医学	24. 臨床医学																																
10. 基礎医学	25. 臨床医学																																
11. 基礎医学	26. 臨床医学																																
12. 基礎医学	27. 臨床医学																																
13. 基礎医学	28. 臨床医学																																
14. 基礎医学	29. 臨床医学																																
15. 基礎医学	30. 臨床医学																																
教科書	配布資料																																
参考書	人体の構造と機能、基礎運動学、病気がみえる脳神経																																
評価方法	筆記試験 マークシート形式																																
備考																																	